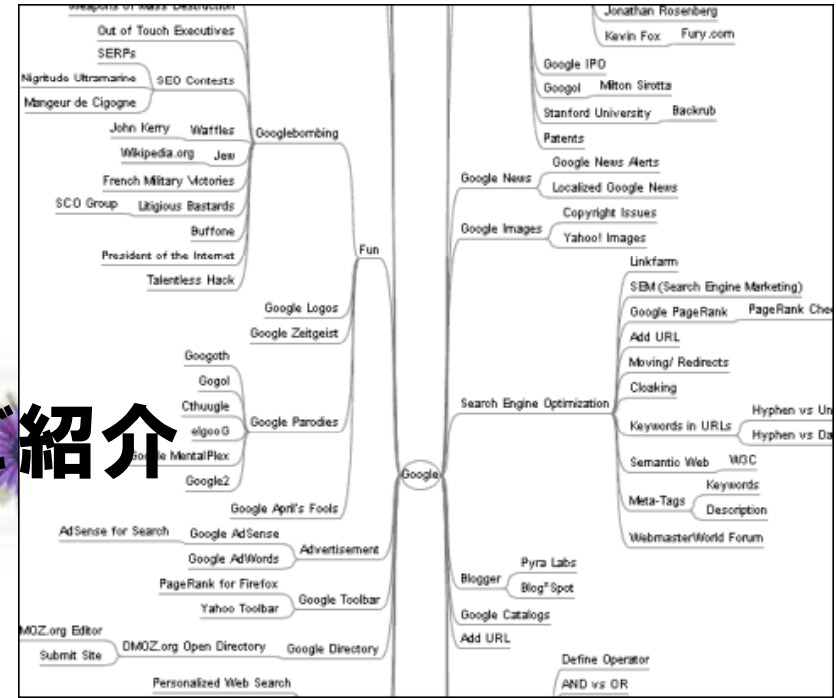


## 第1回 お役立ち講座

### 思考ツール

# 「マインドマップ」のご紹介



1960年代に英国のトニー・ブサン氏が発案し、提唱する記述法。Mind Map、マインド・マップ  
中央にイメージ（イラスト・キーワードなど）を描き、そこから四方八方にツリーを広げ、中央のイメージに関連・連想される言葉やイラストを描いていく。

キーワードやイメージのみで構成する記述法なので慣れれば普通にノートするより遥かに早く、かつ多くの情報を記述することが可能。

中央とその周辺のツリーに重要な事項を書くスタイルなので、可視性・可読性に優れており、ノートを読み返す場合に記述した内容を理解する時間がかなり少なくて済む利点がある。

議事録や講義録だけでなく、学習ノート、発想・アイデアメモ、スケジュールにいたるまで記述の応用範囲は広い。

マインドマップの具体的な活用法に関しては、トニー・ブサン氏の著書「人生に奇跡を起こすノート術—マインド・マップ放射思考」（ISBN:4877710523）が有名。ただし訳書は原書の全てを網羅しておらず、偏った訳と言え、特に理論的説明部分が欠けている。その意味ではよりわかりやすい入門書として「頭がよくなる本」（ISBN:4489005261）の方がお薦めできる。

# 1. マインドマップとは？

マインドマップとは、私たちの頭脳の中で行われていることを、私たちの脳のやり方で目に見えるようにしてくれる思考ツールです。そのため記憶・整理（理解）・発想が格段にやりやすくなり、ひいては解決策を見つけ出したり、何かを実現して行くということがとてもやりやすくなります。

私たちの頭の中では、イメージーションとアソシエーションを用いて思考が展開されていきます。寝ている間に見る夢を思い出していただければ、まさにそれがわかるのではないのでしょうか？この脳のやり方、イメージーションとアソシエーションを描き出すフォーマットがマインドマップです。

例えば、特殊な訓練を積んだ人以外は、通常紙の上に数字と計算式を展開することでより多くの桁数を性格に計算できますよね？これは、数字と計算式というツールを使うことにより実現されています。マインドマップを用いることで、思考プロセスにおいて同じことが行えます。

このようにして、頭の中で起こっていることを外面化、（今の言葉で言えば「見える化」でしょうか？）すると、思考空間を広げることが出来ます。

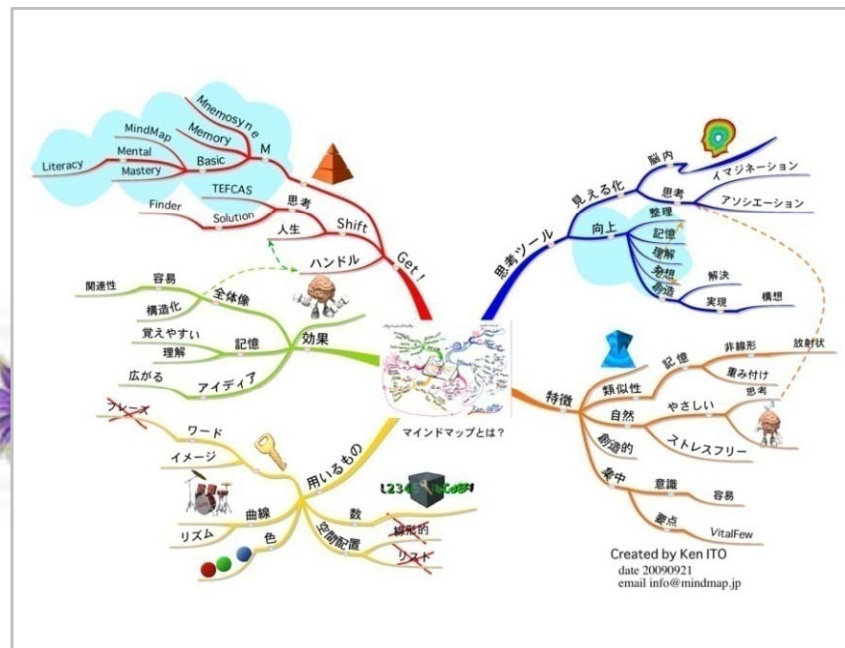
さらにこの思考空間を広げるための記憶マ整理は理解のや発想がよりたものなので、子供から大人まで簡単に、ストレスなく、豊かに楽しみながら身にはなる物事を楽々見ることにより解決策を楽々の制限をかけ何かを楽々者のやり方になれどがやりやすくなるには、少々奇異なものに見えるかもしれませんが。

実際く私自身初めて見たときには、正直なところ「いかにも自己啓発好きの浮ついた人がマスターベーションのためにやりそうな気色の悪い絵だ」なんて思いました。それが、実際に書いてみると、その効果は、絶大でした。しかも楽しく自らの思考を広げることが出来ます。効果が上がる様を目の前にしても、こんな簡単な手法がこんな変化をもたらすことを信じる事が出来ませんでした。

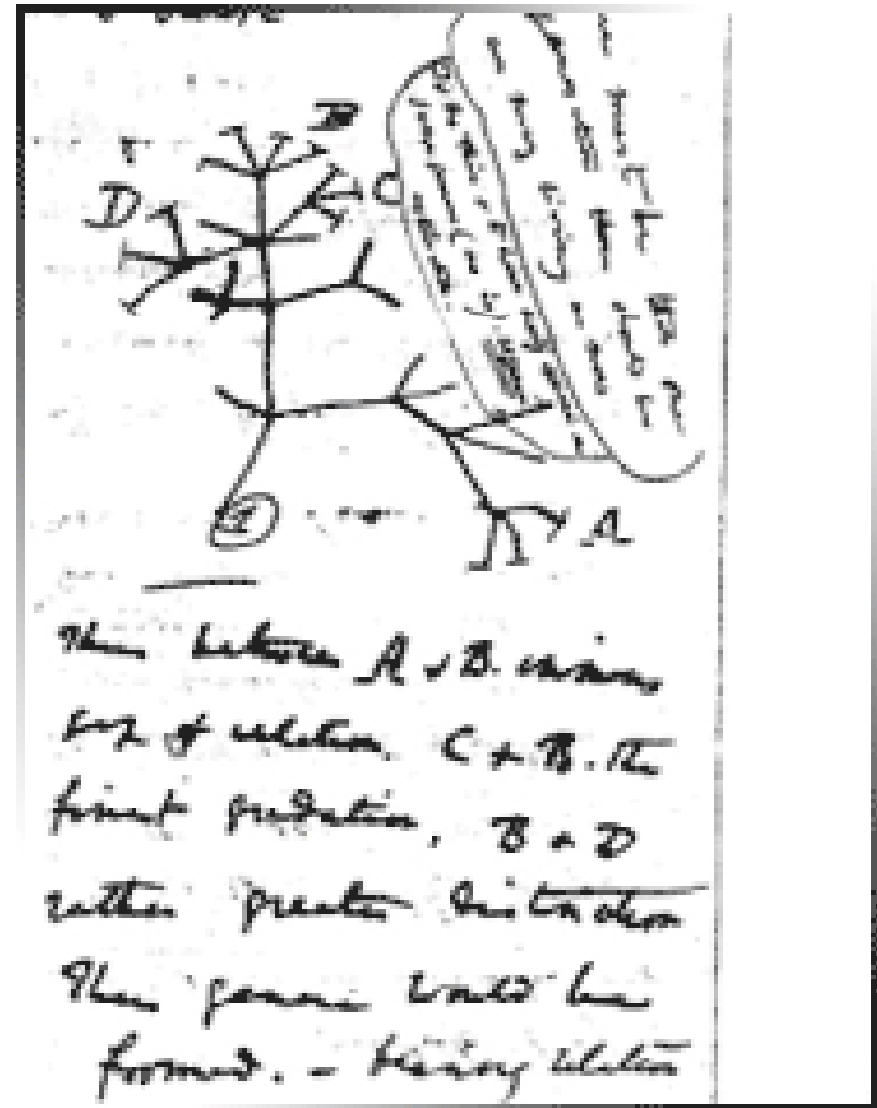
mindmap.jpは、まさに私のその探求のためのサイトです。最初は、経線付きのノートに単色で、直線で、フレーズを使って書いていたものが、徐々に、色や曲線を使ったりすることの効果から自ら体感してきました。そして、さらに開発者のトニー・ブザンから直接教わることで、私のマインドマップは劇的に変化を遂げました。

マインドマップは簡単なので独学も可能だと思います。ただ、シンプルな方法だけにその骨子を理解せず、直線的なものや単語ではなく文章を使ったりというように本来の効果を得られないままになっている方や場合によっては書籍・ソフトウェアも多く見受けられます。是非、このサイトや公認の本を読み込んで身につけてください。

短時間で深いレベルまで理解したいのであれば、公認の「[マインドマップ®基礎講座](#)」を受講されるのもよいでしょう。マインドマップを使って是非あなたの脳の本来の力を解放してください。



見たことありませんか??





放射ノート。  
これはマインドマップの別名にしてもいいくらいだ。  
マインドマップの本などに載っている、放射思考とは一体なんなのだろうか？  
実は放射思考にも2種類ある。

ひとつは、中から、外へ向かっていく放射思考、もう一つは、一つのキーワードを補足、補助、していくための放射思考である。

前者はアイデア出しや、物事を考えるときに使う。文章と言う体裁を考えずに、とにかく、思いつくキーワードを書く事によって、アイデアの行き詰まりを打開することができる。脳の連想の力を最大限まで開放して、想像力、創造力を発揮するときに使える。むしろ、行き詰まりを打開することが目的と言っても過言ではないくらいだ。漫画家や、小説家が、アイデアに困ったとき、マインドマップを使えば、随分彼らの悩みは解消されるのではないかと思う。私もこのブログを書いているときに、マインドマップでアイデアをまとめていく。そうすると、なぜか、論理的で芸術的でまとまりのある記事を思いついたりできるのだ。マインドマップはなぜ、考える道具として向いているかというのは難しいが、一つは、キーワードをとにかく思いつくものを一つでも多く出して、脳にヒントを与えていくからだろう。それによって、脳に切り口を見せてあげることになり、解決のアイデアを思いつきやすくさせているのだろう。また、マインドマップの形状として、外へ外へ向かっていくことは、新しい分野を開拓していく、と言うイメージを脳に潜在的に与えているのかもしれない。それが脳の創造性を刺激しているのかもしれない。

後者については、ノートをとったり、記憶したりするときに使える。既存の情報をどこまで正確に捉えられるか、既存の情報をどれだけ今までの頭の中にある知識、経験と結びつけることができるかというのが目的と言ったところであろうか？一つのテーマについて、できるだけたくさんの情報を素早く書き込む。メモの対象、例えば講師が喋った言葉で、ヒントになりそうなものは対象に枝を伸ばして付け加える。自分が思いついたもの、つまり、自分の言葉や、イメージで言い換えられそうなアイデアも、枝を伸ばして付け加える。難しいクイズ番組もヒントが出る事で随分易しくなる。それと同じで、マインドマップもヒントを付け加えてやるわけだ。情報とは、よりたくさんの言葉に言い換えができること、よりたくさんの他の情報と結び付けられる事によって、記憶や、理解が強化される。マインドマップのもっとも強い部分である。

フォトリディング集中講座で習ったマインドマップ、かな〜り気に入っております (^ ^ / フォトリディングした本の内容をマインドマップにまとめるといいう使い方ですが、後でそのマインドマップを見れば本がまざまざと蘇ってくる様な感じですよ。これは便利！

トニー・ブザン開発のマインドマップについて詳しくは、「[人生に奇跡を起こすノート術—マインド・マップ放射思考](#)」を読んでいただければ良いのですが、[こちらのサイト](#)もかなり参考になります。マインドマップの実例を見たい方は[こちら](#)へどうぞ。

要は、脳のニューロンを模した放射状のリレーション構造を持つ記述法なのですが、視覚的に内容を把握できるので、マインドマップを一目見れば当時考えていたことを瞬時に思い出すことが出来るわけです。ただ、他の人の描いたものはその限りではないので、試験前にノートを借りて・・・、という使い方には向かないかな (^ ^ ; あくまで自分で描いて自分で使うというのが基本でしょう。

ほんと、これを知ってしまうと、普通のノートは取れなくなるかも (^ ^ / PCでやりたい人にはMindManagerというソフトもあります (Win用)。

人の頭にあるアイディアは本来非言語的なものだ (右脳的)。複数の素子が絡み合い有機的に結合することでそこに意味が生まれる。そのアイディアたちをロジカルに繋げていく作業を言語化と呼ぶのだろう (左脳的)。

著者曰く、このマインドマップでは右脳の仕事と左脳の仕事両方を同時に行うことが出来るため、脳の未使用領域を全て使いこなし誰もが天才的な発想を作り上げることが出来るらしい。

この手法がどれだけ万能であるかが本の中で延々と書き連ねられるが、正直もう一つ実感が湧かない。数々の例が挙げられるがそこに至った具体的なマインドマップ形成の経緯が全く記されていないのだ。かわりに次々と疑惑が湧き上がる。そもそもそんなに万能ならなんでこの本自体をマインドマップですべて書かなかったんだ？ (笑)

人間は本来の「脳力」の3%しか用いていない、というのは一時随分言われたことだ。それを聞いた時は勇気づけられたしもっと頑張ろうという気になった。しかしどういいう根拠でそうなるのだろうか？ 脳細胞の数から貯蔵可能メモリを推測し、普通の人が一生涯の内に記憶しているだろう容量と比較した上で算出しているのだろうか。

じゃあ犬や猫の脳みそは何%使われているんだ。もしやっぱり3%程度しか使われていなかったとしたら、教育次第ではしゃべれるようになってくるのか？ 人の意識とは、表に出てこない深層意識の領域の方が大きいわけだが、その中にはいわゆる心理状態だけでなく、心臓を動かしたり新陳代謝を司る制御機能も含まれているんじゃないだろうか。すると植物的な機能としても脳は常にフル活動していることになり、我々が期待する表に出てくる知識や発想力に向ける余力はもう無いのではなかろうか？

ごちゃごちゃ文句は書いたが、例えばこうした書評や仕事の企画をまとめたりする際に、見よう見まねのマインドマップで書き出してみると確かにうまくまとまる。プレゼンテーションのメソッドでも、話すべき事を丸暗記するのではなく、キーワードをいくつか頭の中に置きそれを目印に話を広げていく事が基本中の基本としてまず言われる。だから頭の中は非言語状態にしておくべきなのだ。そういう意味ではマインドマップの方法論はまったくのセオリーである。

天才的な発想を生み出したことはまだないが (一生ないかも知れないけど)、もうちょっと揉んでみる価値はありそう。

## ブレインストーミング、プランニングそしてインプリメンテーションを加速するMindManager

[Ultimate Front-End Planning Tools](#)

[Visual Thinking Tool](#)

[Busines Mapping Software](#)

[Mind Mapping](#)

[Mindjet LLC](#)

放射思考

### Ultimate Front-End Planning Tools

MindManagerは、究極のフロントエンドプランニングツールです。

従来のプランニングツールでは、主にタスクの定義やリソースのアサインを中心としたスケジューリングのイメージが強かったと思います。

しかしながら、私達人間は、ふとした思いやアイデアから様々な欲望を駆り立て、さらにそれを具現化していく生き物です。

もっともっと、私達の脳に近いプランニングツールが欲しかった。そして私達の曖昧なアイデアをより洗練していくために強力なツールが必要だったのです。

MindManagerは、ついにその願いを叶えてくれる数少ないユニークかつ最強のプランニングツールなのです。



### Visual Thinking Tool

MindManagerは、思考を視覚化するツールです。これまで、私達は、思考というものは目に見えないものであると思っていました。ゆえにあらゆる知的活動が、属人化され、それがあたかも特別なスキルのようにありがたがられてきたわけです。

しかし、時代は変わりました。今や、人間の思考を視覚化し、トレースすることができるのです。

視覚化されてしまえば、何のことはない、「私とあなたの考えていたことは、ここが違うんですね。」といった相互理解が簡単にできてしまうのです。まるで嘘のようです。

あなたの思考を明快に視覚化するツールそれが、MindManagerなのです。

これで、あなたも自分自身を見つめる鏡を手にするわけですね。

### Busines Mapping Software

MindManagerは、ビジネスマッピングソフトウェアのひとつです。ビジネスマッピングとは、ビジネスシーンで必要とされるブレインストーミングや、プランニング、ミーティング、レポートといった**様々な知的労働（ナレッジワーク）をマッピング（地図化）することによって、より生産的に、より戦略的に実行するた・の手法**です。

私達はこれをさらに広く捉え、ビジネスマッピングを、「**ビジネスの現場にある膨大な情報や知識の中から目的に合わせた適切な地図を描くプロセスであり、現在地と目的地を知り、相互理解と行動を結びつける架け橋となるもの**」と定義しています。そして、それを具現化するツールが、MindManagerなのです。

### Mind Mapping

マインドマップとは、イギリスの脳の研究分野における権威であるトニー・ブザン氏が開発・提唱している思考法であり、放射思考と呼ばれるものです。マインドマップは、アイデアをまとめ、コミュニケーションを支援する手法として、企業経営戦略・社員教育・学校教育等で幅広く使われています。

脳は、元来放射的・連想的にモノゴトを考えていくことに着目したブザン氏は、脳の働きにしたがってノートをとっていく方法—マインドマップを考案したのです。

ブザン氏は、世で天才と呼ばれるアインシュタイン、レオナルド・ダ・ビンチ、ウォルト・ディズニー氏らが、行っていたノート法を研究した結果、右脳と左脳をバランスよく使うマインドマップ法を開発したのです。

この天才たちの優れていた点は、脳そのものの働きではなく、脳の働きにそったノート法であることに着目してください。

つまり、このノート法を身につけることで、あなたの脳も活性化され、天才と呼ばれた人たちにひけをとらない活躍をするのも決して夢ではないのです。

マインドマップの活用方法は、非常に幅広く、個人や企業を問わず、またプライベート、ビジネスを問わず、脳を活用する場面すべてにおいて適用でき、その可能性は無限であるともいえます。

参照情報：[脳力開発としてのマインドマップ](#)

参照：[放射思考](#)

参照：[マインドマップの活用シーン](#)

Tony Buzan

1942年にロンドンに生まれ、心理学、英語、数学、一般科学の最優秀生としてブリティッシュ・コロンビア大学を卒業。

マインドマップの考案者であり、頭脳協会の会長で、ブレイン・トラスト、ブレインクラブの創設者でもあり、知的読み書き脳力の概念の生みの親としても知られています。

Mindjet LLC

MindManagerは、Mindjet LLC（1994年設立）により開発され、世界中で販売されています。

1998年には、米国、2003年には、英国にオフィスを設立し、グローバルにビジネスを展開しています。

既に世界中で35万人が利用している驚異のプランニングツール、それがMindManagerなのです。

参照情報：[Mindjet LLCのWebサイト](#)

放射思考

MindManagerは、マインドマップと呼ばれる手法をベースに実装されています。

マインドマップとは、人間の思考が放射状に連想される動きを描写した記述法であることから放射思考とも呼ばれています。

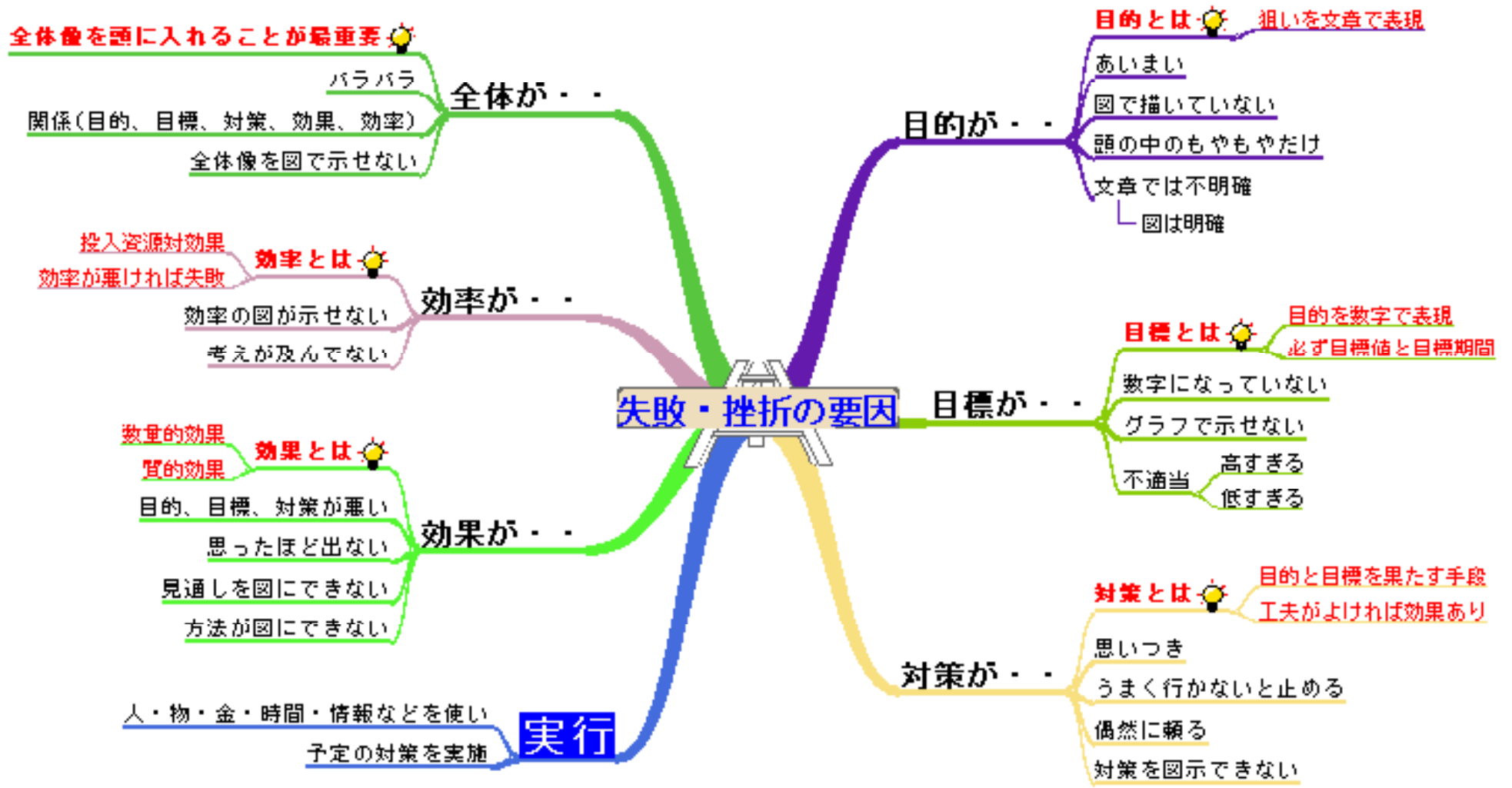
まずは、中心に主要なテーマを入力します。そして、放射状に関連するアイデアをブランチ（枝）に書き出し、さらにそのブランチに関連するキーワードをまた展開していくのです。

マインドマップで何ができるのか？といったことをMindManagerで描いた例を以下に示します。

MindManagerで作成マインドマップの例

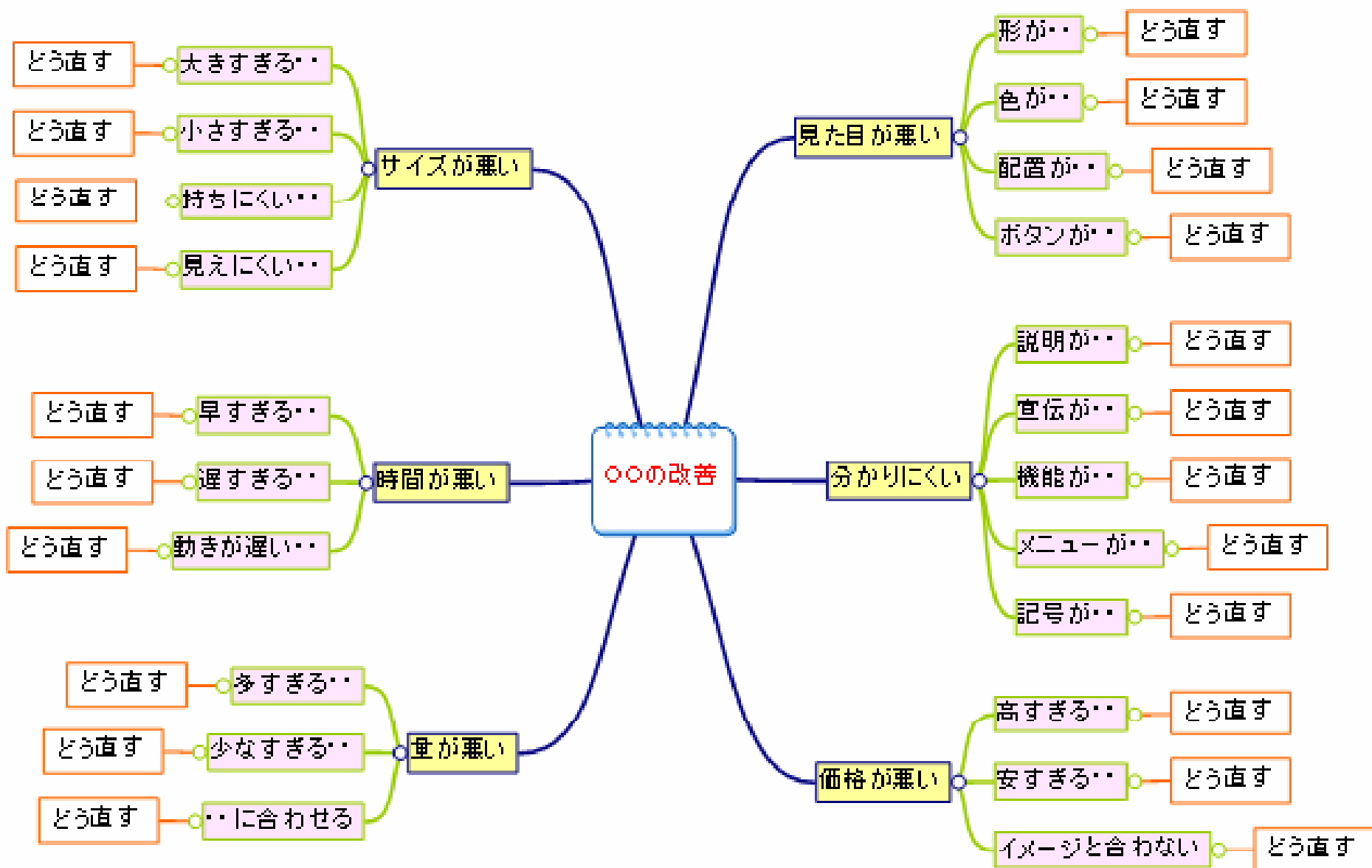
参照：[Mind Mappir](#)



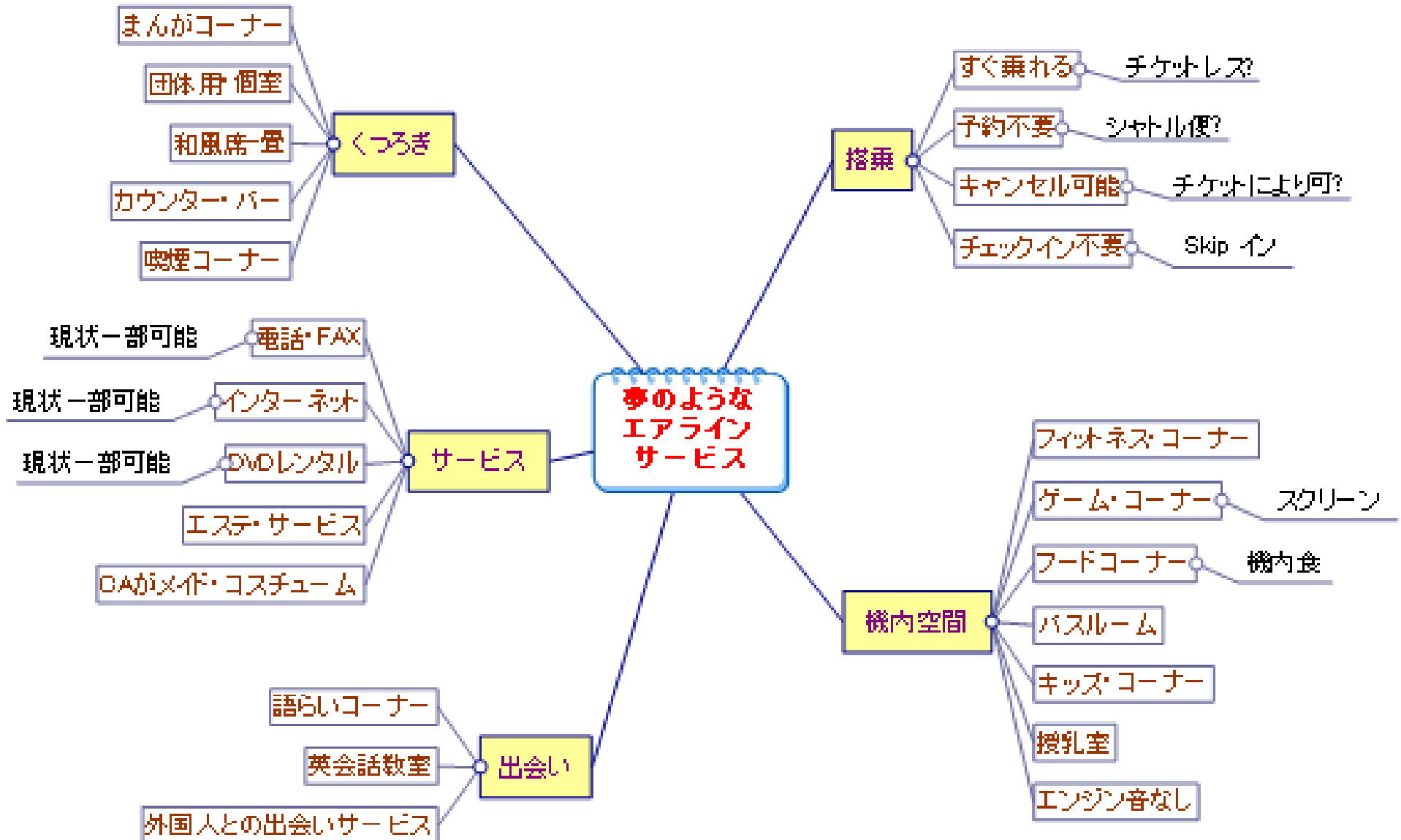




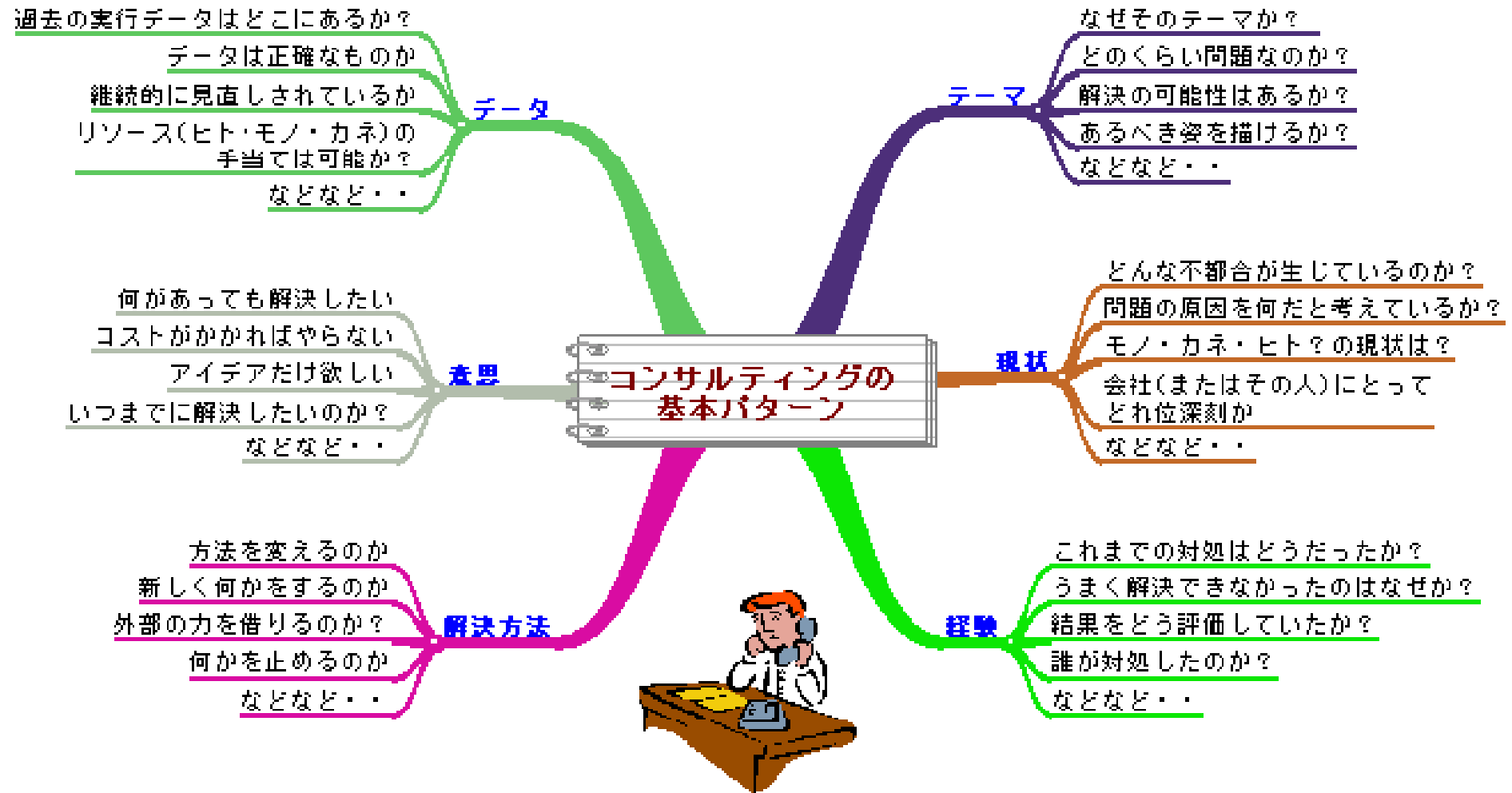
欠点列挙法をベースにしたマッピング



希望点列挙法をベースにしたマッピング



## コンサルティングの基本



# コンサル ノウハウの開発



- 営業
  - 個別訪問
  - 紹介
  - ブレリミナリースタディ営業
  - セミナー開催
  - 研究会開催
  - 客先からの申込

- 提案書
  - 客のニーズと問題点の正確な分析
  - コンサルティングの豊富なノウハウ
  - ニーズとノウハウのマッチ

- 予備診断
  - インタビューや資料による問題の抽出
  - 実態調査
  - リハーサルとしての短期契約

- 開始
  - 目的範囲期間手順 明確に！
  - 提案・契約
  - リーダー・メンバー
  - コンサル側 客側

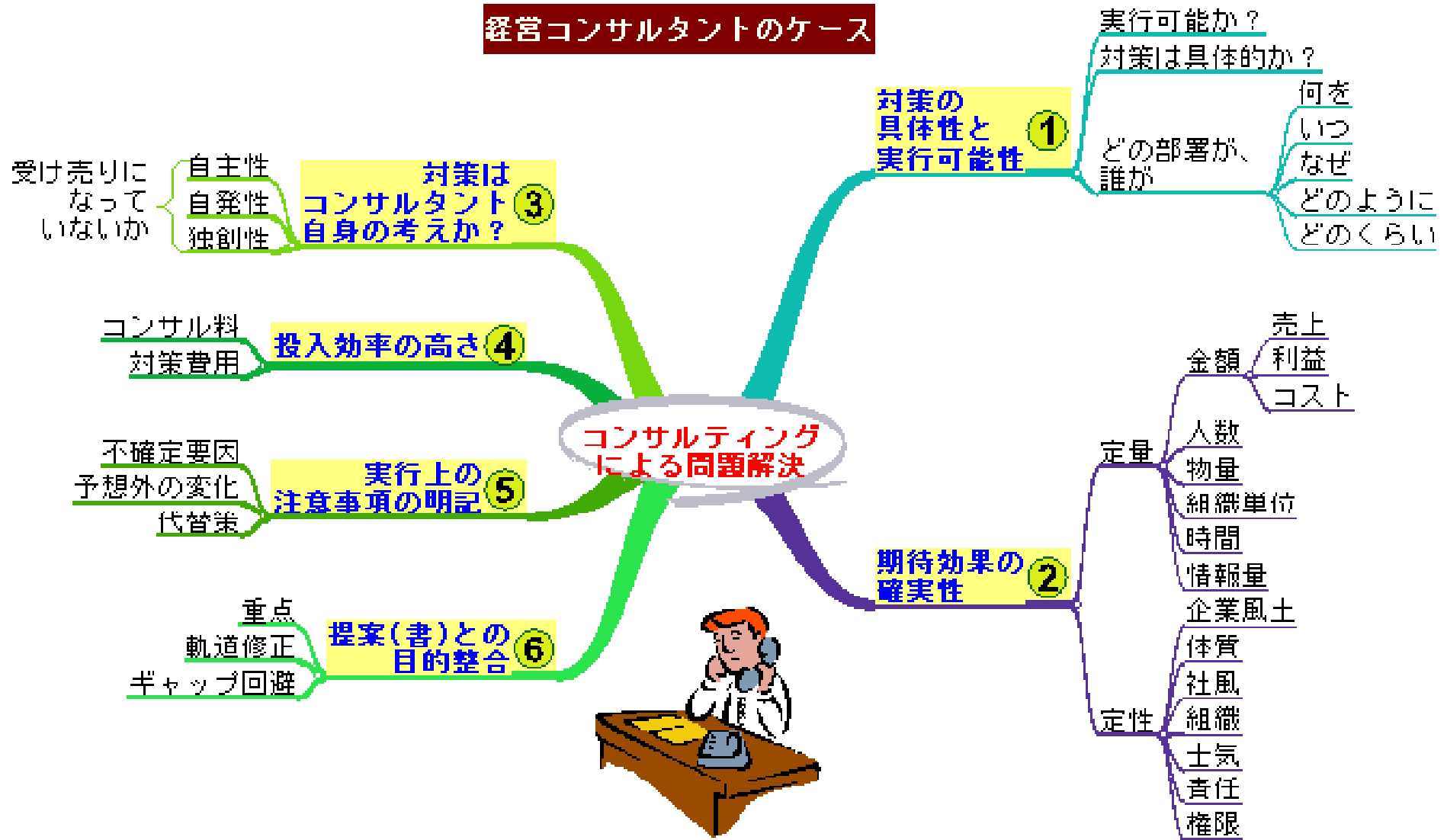
## 調査とインタビュー

- 資料の分析
  - 定性的分析
    - 企業風土
    - 体質
    - 社風
    - やる気
    - 組織
    - 制度
    - 責任
    - 権限
  - 定量的分析

- 視察 実地調査
  - 工場訪問
  - 営業所訪問
  - スケジュール
  - 同行者
  - 写真・スケッチ・図
  - 正確に早くが重要
- インタビュー
  - 個人インタビュー
  - グループインタビュー
  - 想定質問と想定回答の準備

- ノウハウ
  - 手順・手続き
  - 経営分析技法
  - グラフ
  - 図表
  - シュミレーション
  - コンピュータソフト
- テンプレート

# 経営コンサルタントのケース



# すばらしい思考法

誰も考えていない...

別の面を見る

- 逆転発想
  - 長時間新しい
  - 思考パターン変化
  - 視点を逆に
  - 逆ブレオ
- パドックスを作る

別の世界を見る

- 別世界
  - 平行する...
  - 本質の...
  - 興味と結ぶ...
  - 自然界に求める...
  - 想像の世界
- イメージ世界
  - 構図言語
  - 箱庭

発見才能を磨く

- PM法
  - 自然に知性を
  - 隠れた可能性を探す
  - 考えるな!
  - ばかげたアイデア
- 空想
  - 空想の封筒
  - 異種のもの
- 偶然
  - 用意のあるところへ訪れる

考えを話す

- コインシア精神
  - 思考を飛躍
- ブレインストーミング
  - ブレインライティング
  - アイデアの泉
  - ギャラリー歩き
  - アイデアの壁
  - ストーリーボード
  - セッション組合せ

よどみなく

真北思考法

- 判断 後回し
- 思考 二段階
- 重をこなす
- ノルマを課す
- リストアップ
- アイデア 仕上げる
- SCAMPER オズボーン
- エッジノート 巧妙な記録
- ひらめきの手紙

斬新な組合せ

ダ・ヴィンチの技法

- 組合せ
  - キーワードで
  - すでにある情報で
  - 無関係なものを
  - 別の分野から
  - 問題を...
  - 言葉を...
  - アイデアを...
- 極端な要素で

無関係を結びつける

テクニック

ランダムに選ぶ

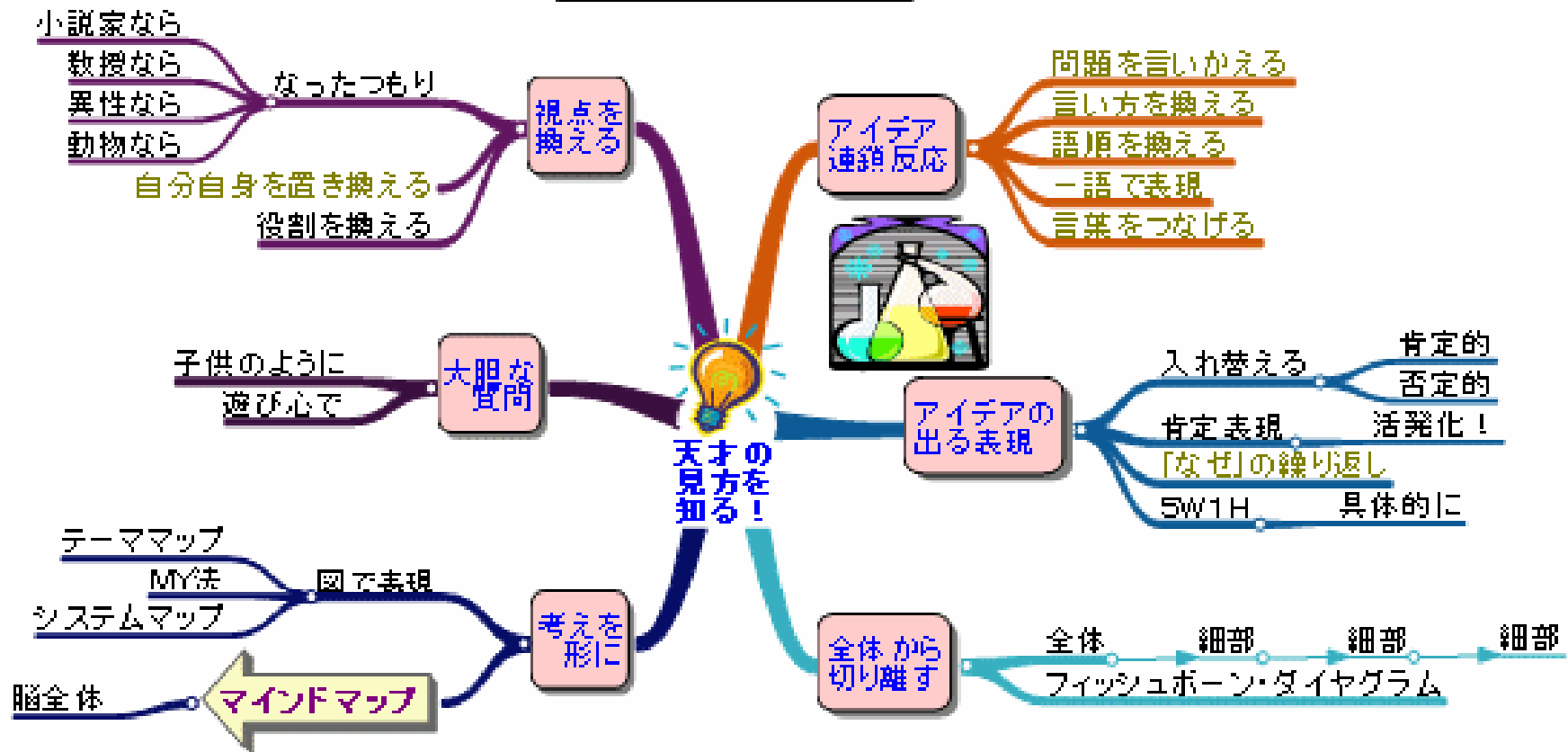
五感を使う

イメージ解決

- 予想しない
- ランダムな言葉
- 思索の散歩
- アイデアバンク
- 新聞・雑誌
- 自然な脳
- 夢想家
- 現実主義者
- 批評家



## すばらしい思考法



小説家なら  
教授なら  
異性なら  
動物なら

なったつもり

自分自身を置き換える  
役割を変える

視点を変える

アイデア連鎖反応

問題を言いかえる  
言い方を換える  
語順を換える  
一語で表現  
言葉をつなげる



アイデアの出る表現

入れ替える  
肯定的  
否定的  
肯定表現  
活発化!  
[なぜ]の繰り返し  
5W1H  
具体的に

子供のように  
遊び心で

大胆な質問

天才の見える方を知る!

全体から切り離す

全体 → 細部 → 細部 → 細部  
フィッシュボーン・ダイアグラム

テーママップ  
MY法  
システムマップ

図で表現

考えを形に

脳全体

マインドマップ



# ロジカルシンキング体系

## 3つの思考法

### ゼロベース

- 視野
- 客観化
- 可能性
- 創造性

### フレームワーク

- 考える枠
- カテゴリー化
- 範囲設定
- 整理
- 切り口設定

### オプション

- 選択肢
- 絞込み
- ディスカッション
- 違いの明確化

## 3つの基礎スキル

### コミットメント

- 意識
  - 当事者
  - 責任
  - 共同
  - 目標
- 能力
  - 当事者
  - 責任

### ストラクチャ

- 構造化
- 階層化
- 相関化
- 位置化
- 体系化

### コンセプト

- 特徴づけ
- 優位性
- フォーカス
- シンボル化
- コピーライツ化

## 3つのツール

### ロジックツリー

- 樹木図
- ブレイクダウン
- 演繹的発想
- 部分化
- 細分化

### マトリックス

- 相関図
- 比較図
- 位置化
- プロット
- セグメント化
- クラスター化

### プロセス

- 時系列
- フロー
- ステージアップ
- フェーズアップ
- 価値連鎖



## 2. マインドマップの描き方(How To Mind Map)



具体的なマインドマップの描き方です。

1. A4かできればA3サイズの白紙を横向き（横長ね）にします。
2. 細いものからある程度の太さのあるカラーペン、それに蛍光ペンのなどを一式用意します。
3. 今から作るマインドマップのテーマ(トピックや問題、課題など)を選択します。
4. 関連する事柄や事実、情報を集めます。
5. 中央にイメージ(絵)を配置します。このイメージを枠では囲わないようにします。  
(中央のイメージはA4サイズの場合は大抵6cm四方、A3サイズの場合ならば10cm四方程度の大きさにします)
6. 中心のイメージには、印象を強くし、記憶の定着をよくするため、最低3色以上を使い、立体的で表現力豊かなものに仕上げます。
7. 中心のイメージに、中央に近い方を太くした、波打った（有機的な）枝をつけていきます。  
そしてその上には、大項目となるようなキーワード(BOI:Basic Ordering Ideaだからちょっと意識)を配置します。  
Note)BOIは、直接・具体的なものより比較的広く・一般的な意味を持つ言葉という感じですね。
8. 中央から伸びた枝を分岐させ、関連する情報を書いて(書いて)いきます。  
(この際、重要なものほど近くに描くようにします)
9. 絵やアイコンなど、好きなイメージを自由に描いていきます。
10. 絵や文字は、常に枝の線上に描く(書く)ようにします。
11. 人々、トピック、テーマ、または日付を示すために、あなた自身の特別なコードとして(意味を持たせて)色を使い、マインドマップをより美しくしていきます。
12. 「思考の第二ステージ」として、すべての考えを把握し、編集し、まとめ、精巧なもしくは明確なより美しいものに仕上げます。  
note)

出典サイト：



[マインドマップ公式サイト](http://www.mindmap.ne.jp/)

<http://www.mindmap.ne.jp/>

[はてなキーワード：](http://d.hatena.ne.jp/keyword)

<http://d.hatena.ne.jp/keyword>